

# 平成 29 年度第 3 回やまがた出会いサポートセンター運営委員会議事要旨

日時：平成 29 年 11 月 21 日(火)13 時 30 分～15 時 10 分

場所：山形県職員会館 あこや会館 1F ホール

## 議事内容

- ・協議事項である平成 30 年度事業推進の方向性、及びやまがた縁結びたいとの連携強化について了承を得た。

## 質問

問 退会者 550 名の内訳はどうなっているのか。

事務局 3 年間の有効期間を満了した会員で、結婚や自主的な退会者は含まない。

## 委員の主な意見

### お見合い後の交際成立率

- ・実際に会ってみて期待はずれだったのではないかと。男性の会話術、身だしなみ、積極性を上げることが必要ではないかと。
- ・率が低下しないに越したことはないが、ある程度お見合い件数が増えてくればやむを得ないと思う。
- ・3 割という数字は低いとは言えないのではないかと。人対人とのことなので難しい面がある。マッチングしている状態で、またプロフィールや写真を確認してからお見合いに臨む方が多いので、期待だけがつのり交際へのハードルが高くなるのではないかと。

### 出張登録・閲覧会

- ・置賜地域は出張登録閲覧会の回数増などにより会員数（特に男性）が増加傾向なので、継続して行ってほしい。

### 会員交流会

- ・女性参加者が少ない点は多くのイベント等でも同様だと思う。女性が参加しやすくするため男性のプロフィール公開や参加条件の設定などが良いと思うが、男性から不満が出るかもしれない。
- ・不参加だった理由についてアンケートを実施してはどうか。
- ・女性は会員に限らず友達との参加も可能にしてはどうか。
- ・最上広域婚活実行委員会で、婚活を表に出さず占いや性格診断を盛り込んだイベントを実施した。今後も寺院、ヨガ、パワースポット等女性が好みそうな内容のイベントを実施予定である。
- ・ネイルケアやランチ、スイーツ、作品づくりなど女性が参加する理由があるイベントにすべきである。
- ・少人数での料理教室などはどうか。
- ・芋煮、陶芸などを盛り込んだイベントを実施したが集客は悪かった。少人数でのお見合いのようなものはどうか。
- ・今年度の企画は山形発着で、かつ集合時間が早く山形市以外の方には参加しづらかった。例えば演劇などの趣味を切り口としてみてはどうか。

- ・町内で実施しているイベントは全て若い世代の方たちが運営している。参考にしてほしい。
- ・会員外の参加も検討すべきである。また、内容を一つではなく候補を複数準備し選択してもらってはどうか。

### 女性向けカフェ座談会

- ・良い企画だ。初対面の女性同士仲良くなり次回のイベントには一緒に参加した例もある。
- ・女性にとって結婚する必要性が薄れてきている。一人でも生きていける。まず、結婚についての意識付けが必要ではないか。
- ・気さくに参加できる内容だとよい。
- ・今年の婚活力アッププログラムは、拘束時間が丸一日では長すぎたのではないか。
- ・米沢市でも自分磨き研修を実施してほしい。

### 企業間交流

- ・村山地域ばかりではなく、他地域でも実施してほしい。
- ・大切な取り組みである。企業という枠組み同士で繋がりが始まれば交流の基礎が出来てくる。裾野を広げることが新規会員の増加にもつながる。

### 催事出展での PR

- ・仙台でのシティ夏祭りの際、当市イベントチラシを配布してもらいPR効果大で、イベントへの女性参加者が増えている。ぜひ出展を継続してほしい。

### その他

- ・置賜広域行政事務組合内で、男性の生涯未婚率増加を防ぐためには他地域から女性を呼び込まなければならない、そのためには男性に事前にセミナー（会話術、身だしなみ等）の実施が必要である、との意見が出されている。
- ・結婚支援の先進県など各都道府県との情報共有が大切だと思う。地道にPR活動を実施すべきである。
- ・イベントのチラシをコンビニに設置してもらったところ周知効果があった。

### 今後センターが会員以外も対象としたイベントを主催することに対する意見

- ・企業や商店街と連携して、企業や商店街にとってもメリットがあるようなイベントを仕掛けてはどうか。また、若い世代の方にスタッフや当事者として関わってもらうようにしてみてもどうか。
- ・県内で数多くのイベントが開催されており、各イベントが埋没している状況である。マッチングを前に出さず、女性が喜ぶ企画が必要である。山形市「オアズブルー」のオープンイベント（大学との共同）で、30分程度のミニセミナーを実施していたが大変にぎわっていたようだ。結婚式場等のブライダル関連企業と連携することで、女性が興味を持ってくれる体験会などが企画できるのではないか。
- ・酒田市結婚サポートセンターが主催するイベントでは、参加者に立ち居振る舞いなどのアドバイス行いながら結婚推進員が継続して関わりを持っている。イベント終了後も一緒にお茶を飲みながら仲人説明などにも行く。実際に女性登録者数が増えており成果が出ているように感じる。
- ・県内の商工会のイベントとして、マッチングだけではなく地域の特色を生かしPRするような内容のものを実施した。センター単独で実施するのであれば、マッチングを前面に出すべきではないか。